

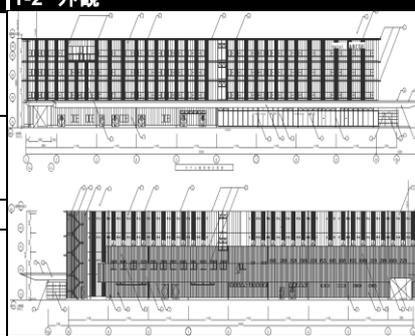
CASBEE®広島

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	広島競輪場再整備計画スタンド棟 他新築工事(ホテル棟)	階数	地上4F
建設地	広島県広島市南区宇品海岸三丁目 4番70外10筆	構造	S造
用途地域	準工業地域・一種低層住居・二種中 高層住居、準防火地域・指定なし	平均居住人員	300人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所・ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年8月 予定	評価の実施日	2023年12月04日
敷地面積	57,266㎡	作成者	高橋秀紀
建築面積	3,730㎡	確認日	2024年5月22日
延床面積	7,314㎡	確認者	上田博雄



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (184 kg-CO₂/年・㎡)

②建築物の取組み: 81% (149 kg-CO₂/年・㎡)

③上記+②以外の: 81%

④上記+: 81%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安を示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 (Qのスコア = 2.7)

Q1 室内環境 (Q1のスコア = 2.9)

音環境	3.1
温熱環境	2.4
光・視環境	2.7
空気質環境	3.5

Q2 サービス性能 (Q2のスコア = 2.8)

機能性	2.4
耐用性	3.1
対応性	3.1

Q3 室外環境(敷地内) (Q3のスコア = 2.5)

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	2.5

LR 環境負荷低減性 (LRのスコア = 3.3)

LR1 エネルギー (LR1のスコア = 3.3)

建物外皮の	N.A.
自然エネ	4.0
設備システ	3.4
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア = 3.2)

水資源	3.4
非再生材料の	3.2
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境 (LR3のスコア = 3.2)

地球温暖化	3.7
地域環境	2.8
周辺環境	3.2

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.2

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.4	スコア = 2.5	スコア = 3.2
設計の計画上特段に配慮した事項 / 手動の開閉窓を使用している。/ BEIm=0.77。// 節水コマと節水機能などに加えて、節水型機器も採用している。 事務所: 床: ビニル床シート 断熱材: ポリスチレンフォーム ホテル: 床: タイルカーペット 断熱材: ポリスチレンフォーム。 LGS使用している。/ ライフサイクルCO ₂ 排出率81%	設計の計画上特段に配慮した事項 /	設計の計画上特段に配慮した事項 ALC: 50年 サイディング: 40年。 ガルバリウムダクトを使用している。 給水PEP(B)、給湯SUS(C)、排水VP(B)、Eは不使用。/

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される